Ⅶ　水産部の主要事業

１　成長を支える多様な人材や中核的経営体の確保・育成

(1) 地域を牽引する中核経営体の育成と経営基盤の強化

◆概要

地域のリーダーとなる漁業士を育成するとともに、漁業者グループの共同経営化等を通じた収益性向上に結びつく取組や雇用型漁業の経営基盤強化を推進することにより、地域を牽引する中核漁業経営体を育成します。

◆取組事項

○ 漁業士研修会の開催等
○ 漁協青壮年部活動等への支援
○ 収益性向上に向けた新たな取組を行う漁業者グループの掘り起し

◆関連事業

事業名	事業内容	実施主体
地域を牽引する中核漁業経営体育成推進事業	○地域のリーダーとなる漁業士の育成 ・漁業士研修会の開催等 ・漁協青壮年部活動等への支援 ○収益性向上に結びつく新たな取組支援 ・水産大教員による現地ワークショップの開催、共同経営指導専門チーム会議への参画及び既存取組のステップアップのための検証・改善提案 ・指導活動、新たな取組に係る機器・施設整備支援 ・既存の取組のステップアップのための機器・施設整備支援	県、 県漁協

○ 当所管内の漁業者グループの収益向上の取組

年度	グループ名	取組内容
H23	青海島岩がき育成研究会	共同でのイワガキ養殖の取組
H24	仙崎男気ワカメ	採介漁業者が共同で天然ワカメの加工販売の取組

R3	川尻一本釣グループ	クレセントアイス使用による漁獲物品質向上・氷費用削減（氷製造機整備）
	黄波戸鮮度向上グループ	氷の潤沢使用による漁獲物品質向上（クレセントアイス製造機整備）
	立石鮮度向上グループ	フレークアイス使用による漁獲物品質向上（氷製造機整備）
R4	油谷イカ販売グループ	急速冷凍でストックしたイカを活用した所得向上の取組
R6	大浦アカウニ養殖グループ	アカウニ養殖による所得向上の取組（かご、ロープ、高圧洗浄機整備）

養殖かご搬入

養殖アカウニ「夏味」

(2) 新規漁業就業者の確保・定着

◆概要

募集から研修・就業・定着までの一貫した支援体制により新規就業者を確保するとともに、就業後の収入安定化対策を実施し、地域への定着を促進します。

◆取組事項

○ 県、市、関係機関と連携した就業相談への対応
○ 研修者受入体制の整備、漁業就業支援フェアへの出展支援
○ 研修者に対するフォローアップ
○ 経営開始時の生産基盤整備に係る支援
○ 新研修で得た漁業技術とは異なる新たな漁業技術の習得に対する支援

◆関連事業

事業名	事業内容	実施主体
新規漁業就業者定着促進事業	新規漁業就業者確保育成事業 ・相談窓口の設置、短期及び長期漁業研修の実施	県漁協
	新規就業者定着支援事業 ・研修者に対する研修支援金の支給	漁協、 市町
	経営自立化支援事業 ・新規就業者に対し定着支援給付金３年間支給	漁協 市町
	漁船乗組員定着促進事業 ・漁船乗組員を雇用した漁業会社に対し、研修経費の支給	漁業法人
	新規就業者生活・生産基盤整備事業 ・新規就業者向けの漁船等購入経費助成 ・研修生用の住宅確保のための空き家等改修費の支援	漁協
新チャレンジ漁業総合支援事業	新規漁業技術習得支援事業 ・これまでに得た漁業技術とは異なる新たな漁業技術の習得の支援	漁協
	漁業経営体成長促進事業 ・習得した新たな漁業技術について、新規漁具等の購入や実践的な研修の支給	漁協

○ 長期漁業技術研修の状況（R7.4 月現在）

対象者なし

○ 経営自立化支援事業活用者

対象者なし

○ 漁船乗組員定着促進事業（OJT）実施者

支店名	漁業種類	研修人数
通支店	大型定置	２名

研修開始（漁船乗組員定着促進事業）

(3) 農山漁村女性リーダー・やまぐち農林漁業ステキ女子の育成

◆概要

　管内の漁協女性部の組織的な活動は近年低調でしたが、藻場減少の一因となるガンガゼを使用したうに飯を開発し、令和６年に開催された「ながと魚まつり」での販売等を通じて、活動意欲が増してきました。

　これを契機に、漁村生活改善士をはじめとした漁村女性リーダーの育成に努めるとともに、組織活動の再活性化に向けた支援を実施します。

◆取組事項

○ ながと魚まつり、地産地消 PR 等各種活動の支援

○ 加工グループの取組支援

　・商品販売に係る支援

　・新商品開発、食品衛生、食品表示等に係る支援・指導

ガンガゼ（うに）飯の加工作業

ながと魚まつりでの販売

ガンガゼ（うに）飯

２　需要の変化に対応した持続可能な生産供給体制の確立

(1) 海洋環境の変化も踏まえた水産資源の管理強化と生産体制の確立

◆概要

　近年、海水温の上昇など海洋環境が変化しており、県ではスマート CTD による海洋観測等デジタル技術を取入れた対応を構築し、漁業者に情報提供します。

左：クロロフィルセンサーと設置イカダ

右：藻場の衰退状況

　併せて、安定的な種苗生産・放流や小型魚保護等の資源管理の取組を通じ、キジハタやアワビ等、需要がある魚種の生産増大を図るとともに、水産生物産卵場や幼稚仔育成場となる藻場等において生産増大に資する取組を支援します。

・キジハタやアワビ、ヒラメ等の重要魚種の種苗放流実施

・沿岸域環境改善支援

　藻場の保全・再生活動に対する支援・指導

○ 主要魚種の種苗放流実施予定（単位：千尾・個）

ヒラメ（87）、キジハタ（24.1）、アワビ（66）

○ 漁業生産増大推進事業のうち沿岸域環境改善支援（令和7年度予定）

活動組織	活動項目
藻場保全グループ 通・長門東・黄波戸の3G	母藻の設置、食害生物の除去（ウニ類） モニタリング、ウニの密度管理等

種苗放流

藻場再生活動（母藻設置）

○ やまぐちほろ酔い養殖の取組

　仙崎地区（長州ながと水産（株））では、現在、ほろ酔いサバ：4,000尾、ほろ酔いうまづらはぎ：800尾を秋頃からの出荷に向けて養殖中です。

　今後は、生産尾数の拡大等についても検討されています。

○ アカウニ養殖の取組

油谷大浦地区では、水揚げ減少が続くアカウニの試験養殖が令和４年度から行われており、令和６年度にブランド名を「夏味」と命名し初出荷されました。

令和６年１０月より区画漁業権を取得し、生産個数も３万個に増産され、本年夏以降から本格的に出荷される予定です。

養殖アカウニ（板うに加工）

「夏味」命名式

(2) カーボンニュートラルに貢献する持続可能な水産業の推進

藻場が貯留する CO2 をクレジット化し、保全活動を継続するため、海のゆりかごブルーカーボンプロジェクトinセンザキ協議会が組織化され、昨年度から本格化に取組を開始しており、Ｊブルークレジットの販売収入も活用し、引き続き保全活動を実施します。

令和６年度Ｊブルークレジット販売実績

クレジット購入者	口数	単価（円）	合計（円）
一般企業８社	８口	99,000	792,000

３　産地の維持・拡大に向けた基盤整備と防災力強化

生産力強化を図るための基礎となる生産基盤を計画的に整備するとともに、多面的機能の維持・発揮対策や近年多発する大規模な自然災害に備えた防災・減災機能の強化対策を実施します。

○ 県営漁港機能強化事業［補助公共］

大規模津波発生後においても漁業活動が継続可能となるように、施設の耐震強化・耐津波化対策を実施します。

（千円）

事　業　名	漁港名	R6 当初	R6 補正	R7 当初	事業内容
漁港施設 機能強化事業	仙崎	0	0	20,000	(R7 予定) 岸壁改良（耐震強化・耐津波化）設計　１式

○ 県営漁港漁場機能高度化保全事業［補助公共］

漁港施設の機能を保全するために必要な対策を行い、施設の長寿命化を図りつつ更新コストを平準化することにより、ライフサイクルコストを低減します。

（千円）

事　業　名	漁港名	R6 当初	R6 補正	R7 当初	事業内容
水産物供給基盤 機能保全事業	仙崎	64,000	20,000	0	(R6 実施) 防波提補修　１式 橋梁調査設計 １式 (R7 予定) 防波堤補修　１式 岸壁補修
水産物供給基盤 機能保全事業	川尻	53,000	0	0	(R6 実施) 突堤改修工 １式
漁港機能増進 事業	仙崎	30,000	0	0	(R6 実施) 照明灯等更新　１式

○ 県営漁港海岸保全施設整備事業［補助公共］

高潮、波浪等による浸水災害を未然に防ぐため、海岸保全施設の新設又は改良を行うとともに、既存の海岸保全施設の長寿命化を図りつつ更新コストを平準化することにより、ライフサイクルコストを低減します。

（千円）

事　業　名	海岸名	R6 当初	R6 補正	R7 当初	事業内容
海岸保全施設 整備事業 （高潮）	仙崎 （白潟）	42,500	0	20,000	(R6 実施) 護岸工１式 (R7 予定) 胸壁、陸閘

○ 県営漁港海岸環境整備事業［補助公共］

海岸利用者の安全性確保を図るためや、飛砂防止対策等の周辺環境との調和を図るための施設整備を行い、豊かで潤いのある海岸環境の整備を行います。

（千円）

事　業　名	海岸名	R6 当初	R6 補正	R7 当初	事業内容
海岸環境整備事業	仙崎	0	0	30,000	(R7 予定) 舗装工 １式 飛砂防止施設工 １式